

サクラソウ日記

自学ノート提出数累計
63冊(51人)6/22現在

(自分に自信と夢を～いまをだいに、なかまとともに、一歩前進をめざして～) 校長 宮脇真一

19日(月)避難訓練を実施しました。感染症予防のため、4年ぶりに全員一斉に運動場へ避難・整列しての訓練でした。今回は地震を想定し、教室から経路を確認しながらの訓練です。訓練を行う際には、様々な想定の中から場面を限定して確認を行います。見守っていただいた消防士さんからは、場面を想定して訓練を重ねておくことの大切さも話していただきました。大津小学校では、担当の田崎先生の計画に基づき、定期的に訓練を積み重ねていきます。次回は不審者対応の訓練を予定しています。



地震想定訓練では運動場中央に集合

(2023/6/19 撮影)

いまをだいに ～「学力」の状況は?～

全ての児童を「自立した探究者へと誘(いざな)う」こと。

私が教員になったのは32年前ですが、この間(実際には30年近く)一貫して思い続けていることです。物事に対して、自分で情報を収集し、判断すること。目標の実現に向けて粘り強く取り組むことは、生きていく上でなくてはならない営みであると思います。

学校という「社会」の中での経験したことは、自分自身の生き方に何らかの形で、影響を及ぼします。また、児童は学校という限定された社会で、様々なことを意図的に経験しています。そんな中、「計算ができる」「漢字が書ける」「問題が解ける」などの狭義の意味での「学力」は、自分が生きていくための欠かせない要素の一つです。

この程、4月に実施した「大津町学力・学習状況調査」の結果が届きました。4月に3年生以上が参加した「調査」です。「平均値」という尺度で言うと、国語は全ての学年が全国平均を下回り、算数は一部の学年で全国平均を上回りました。前回(12月の調査)からの「伸び」という尺度で言えば、国語は一部の学年で「上昇」、算数は全ての学年で「下降」しました。

12月の段階では、ほとんどの学年・教科が「上昇」でしたが、今回は全体としては力を発揮できなかったという結果となりました。(個々の状況では伸びている子どももたくさんいます)

大事なのはこれから。学校では、ひとりひとりの「いま」を確認しており、このことを児童と共有します。自分の「いま」を知り、得意なことを伸ばす学び、弱点を減らす学びに自覚的・継続的に取り組ませていきます。

そのためのツールの一つとして、全ての児童のタブレットには「ミライシード」というAIドリルが入っています。このAIドリルは、児童の状況に応じて、提示される問題が変わります。一人一人の回答状況に合わせた問題が提示されます。校内での学習はもちろん、家庭学習でも利用できますし、進捗状況を担任は端末上で把握することができます。

大津小学校伝統の「学び合う」授業を支えるツールです。児童がタブレットを持ち帰った際に、一度覗いてみてください。

新しい先生をお迎えします ～特別支援学級担当：宮本昭洋先生～

来週から、新しく宮本昭洋先生が大津小学校に着任されます。宮本先生は一昨年度末まで大津小学校に勤務されており、今回2回目の大津小学校勤務となります。

今回は非常勤講師としてのお勤めになりますので、月・火・木・金の4日間、ひまわり2組を中心に授業を担当される予定です。宮本先生、よろしくお願いいたします。

